

弘大

ポリフェノールと健康探る

丸善製薬(広島)と共同講座

弘前大学が植物エキスの製造を手がける丸善製薬(広島県尾道市)と共に、リンゴやコーヒーなどに含まれる有効成分「ポリフェノール」と食生活、健康寿

命の関係を調べる。23日、弘大で共同研究講座「先端ファイトケミカル健康学講座」の開設式を行った。研究テーマは、腸内細菌が作るポリフェノールの代



謝物(HMPA)と健康との関わり。丸善製薬のこれまでの調査で、HMPAに肥満防止や血糖値の上昇抑

制効果があることが確認されているという。

同社は今年から、弘大が20年以上にわたって弘前市岩木地区で取り組む大規模健診「岩木健康増進プロジェクト健診(岩木健診)」に本格参加。HMPAの血中濃度や血圧といった健康指標、食生活との相関関係を詳しく調べている。

同社の日暮泰広社長は「岩木健診ほど多項目のデータを集めている健診は他に例がない。研究結果を生かし、ポリフェノールを効果的に摂取できる素材開発をしたい」、弘大大学院医学研究科の伊東健副研究科長は「HMPAが健康に役立つメカニズムを解明したい」と話した。

開設は4月1日付で、設

置期間は3年間。弘大では23日現在、24の共同研究講座を開いている。

(工藤貴光)